

なごもっかが提供できる「子どもの権利学習」について

1. 子ども向け出前授業（学校・学童保育・地域活動・イベントなど）

- ・発達に応じてプログラムを準備しています。
- ・学校で行う場合は、原則各教室で実施します。クラス数が多い場合はご相談ください。
- ・グループワークをすることも可能です。

子どもは、子どもの権利を守られることを通して、権利とは何かを学びます。そのため、授業は子どもが子どもの権利を知るためのステップの中のひとつです。授業後におとなが子どもの権利を保障することを意識していただくと効果的です。

【授業例】

中学生 高校生向け	①授業・講演	子どもの権利ってなんだろう
	②グループワーク	なごや子どもの権利条例の条文を考えよう
	③グループワーク	校則は誰のため？
小学生向け	①授業	子どもの権利ってなんだろう
	②ワークショップ	守られてほしい権利
	③グループワーク	どの権利にあたるかな？

【これまでの子どもからの感想】

＜中学生＞

- ・自分が行きたい道に進もうと思った
- ・相談するのもいいんだなと思った
- ・自分たちに一人一人に人権があって、一人一人尊重されるべき大切な存在だとわかった。もっと早く知りたかった
- ・自分と関係ないと思っていたが、ちがった
- ・つらいことがあるけど、少し心の余裕ができた

＜小学生＞

- ・いろんなことをおとなに聞いていいんだと安心した
- ・みんなと思っていることが違ってもいいんだとわかった
- ・困ったことがあったら相談してみたい
- ・権利を大切にしていきたい
- ・人と比べなくていい

2. 教員・保育士・支援員等子どもに関わる職種向け研修

- ・60分以上が推奨です。60 分未満の場合はご相談ください。
- ・講義とグループワークなどでの連続講座がオススメです。

【研修例】

①講義	子どもの権利の考え方 子どもの権利条約についてなごや子どもの権利条例について 子どもの権利を保障する関わり方 など
②講義短縮版+グループワーク	※ <u>60～90分</u> が推奨です。 60分未満の場合はご相談ください。
③講義+質問	意見交換
④講義	困っているテーマについて、子どもの権利の観点からの考え方を学ぶ

【これまでの感想】

- ・やれていること、やれていないこと、知らなかったことが明確になった
- ・子どもの思いをしっかり聴くことの大切さがわかった

- ・子どもとともに考えることを明日から意識していこうと思った
- ・子どもの権利はおとなが守らないといけないと実感した
- ・子どもたちとの関わり方について考えさせられる内容だった

3. 保護者向け研修

- ・学校で実施する場合、授業参観として子ども向けに子どもの権利学習を実施した後、保護者向けに研修をすることも可能です。

【研修例】

① 子どもの権利について	子どもの権利の考え方、子どもの権利条約、なごや子どもの権利条例、子どもの権利を保障する育見など
② テーマ別講演	いじめ、不登校など子どもにかかわるテーマをもとに、子どもの権利の観点からどのように対応すればよいかなど

【これまでの感想】

- ・家でさっそく子どもに話してみた。今後は子どもの権利と親の権利の調整を話し合っていきたい
- ・子どもの心の声に耳を傾けているのか反省させられた
- ・権利と義務は別という言葉が胸に突き刺さった。口を出さないようにしていたら、子ども達がいつもより機嫌良くいた気がする
- ・もっと早く知りたかった

4. 一般向け研修

- ・普段直接子どもにかかわらない方（地域の方など）に対しても、子どもの権利がまもられる社会にむけて研修をさせていただいています。

【研修例】

① 子どもの権利について	子どもの権利の考え方、子どもの権利条約、なごや子どもの権利条例、子どもの権利を保障するために大切なことなど
--------------	---

【これまでの感想】

- ・子どもの最善は子どもが知っている。子どもの意見表明をより受け止めようと感じました
- ・普段考えていない事について考える事ができた
- ・子どもの主体性を尊重することの重要性に気づけた。私が子どもだったときにはなかった考え方も多く学べたため、スタンダードな考え方になるとよいと思った。